西覚寺だより

第２１号

花まつり　のご案内

●日にち　５月２７日（土）

●時間　午前１０時　～　午後３時頃まで

☆「花まつり」は、お釈迦様のお誕生をお祝いするイベントのことです。昔ながらの「花御堂」の中のお釈迦様に「甘茶」をかけてお祝いします。

☆「甘茶」もぜひ飲んでみてください。お菓子も用意しています。

☆そのほかには、「写経体験」やビンゴも用意しています。

★当日は安城駅前では「ホコ天きーぼー市（歩行者天国）」が開催されていて、いろいろなお店やキッチンカーが出店されていると思いますので、ぜひ足をはこんでみてください！お待ちしています！

◆　住職の一言コーナー　◆

みなさま、いつもお世話になっております。いつもありがとうございます。今回は一言・二言コーナーになります。

ひと言目

例年４月２５日は「永代経」という法要を勤めておりますが、本年は予てからご案内の通り、親鸞聖人御誕生８５０年・立教開宗８００年の記念法要をお勤め致します。

みなさまの有縁の方をご縁にお納めいただいた「永代経懇志」に因んで、亡き有縁の方を偲びつつ、浄土真宗のみ教え、そしてその道場である西覚寺の永代護持を願う法要が、永代経法要です。

特に毎年のことでご予定くださっていた方には申し訳ありません。

ただ、８００年という長い歳月に渡って受け継がれてきた、親鸞聖人が残してくださった浄土真宗というみ教え。その歳月に思い致し感謝をするということは、趣旨としては永代経法要と大きな違いはないかと思います。８００年という長い歴史の中に、みなさまの有縁の方ももちろんおいでくださった。だからこそ今私たちは、浄土真宗というみ教えのもとに集う、「御同行（おどうぎょう）」となっているのですから。

どうぞ皆様、いつもと変わらずお参り下さい。心からお待ちしております。

ふた言目

ご葬儀の日時を決める際、まずお寺にご相談下さりありがとうございます。その中で、皆様のご希望に添えないこともあり、申し訳なく思っています。

特に、土曜・日曜にご葬儀をご希望される場合は、どうしてもご希望の通りの時間にはお受けできないことが多いです。土曜・日曜になりますと、一日２件は正午を挟んでご法事を承っており、多い日は三件承っていることもあります。その中で、なんとか時間に都合をつけて、土曜・日曜でご葬儀が勤められるよう時間を提案するのですが、時には「もっと普通の１０時とか１１時でないなら、他のお寺に頼む」とお叱りを受けたこともあります。申し訳ない想いでいっぱいです。ただ、やはりご葬儀もご法事もどちらも大切で、どちらも大事にお勤めをさせて頂きたいので、その中での最大限の提案であるということをご理解頂けましたら幸いです。そして、ご法事についても、ご葬儀の関係で３０分前後させて下さいとお願いをすることもあるかと思います。みなさまどうかご理解の上、柔軟にご対応下さいましたらありがたいです。いつもご無理言って、申し訳ありません。

住職　拝

浄土真宗本願寺派
西覚寺
安城市朝日町１２－８
☎０５６６－７６－３５９４
http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年　記念法要

今年は私たち浄土真宗にとって、特別な節目の年です。
京都のご本山・本願寺では、親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年の記念法要が営まれています。本来であれば、全国の末寺からも団体で大勢参拝させて頂くところですが、それはかないません。
そこで、みなさまとともにこの節目の年をお迎えするために、西覚寺でもこの記念法要を勤修することにしました。

○日時　　４月２５日（火）　午前１０時半～　・　午後１時半～
○場所　　西覚寺本堂
○お勤め　　正信念仏偈作法（特別に雅楽の生演奏も入ります）
○ご法話　　井上見淳師（本願寺派司教・龍谷大学准教授）
○記念品　　井上見淳先生が意訳編集された本『いつでも歎異抄』
紅白饅頭・この法要のために作った記念ボールペン
ご本山本願寺からの記念品「マグネット」
○お斎　　お赤飯の予定です。門徒会館で食べて帰って頂いても、
お持ち帰り頂いても構いません。パックにつめてお渡しします。

平日で申し訳ありませんが、
雅楽の演奏や記念品、お斎の再開など
特別な法要ですので、特別なご用意をしております。
万障お繰り合わせの上、
みなさま、ぜひお参りください!!

※　持ち物　：　御仏前（御祝）・お念珠・門徒式章（お持ちの方）
※　駐車場　：　境内地駐車場以外にも、近隣で駐車場をお借りする予定です
※　マスク　：　マスクの着用は”推奨”します。
※　服装　　：　平服で構いません。